

第74回 開放型病床カンファレンス

医療関係者向

日時: 6月13日(木) 18:00~  
 場所: 松波総合病院 3階講堂  
 テーマ: 『職業感染の一次予防としての  
 職業性血液・体液曝露予防  
 ~針刺し/切創予防対策の  
 これまでとこれから~』  
 講師: 東濃保健所長 木戸内 清先生

第34回 羽島救急カンファレンス

医療関係者向

日時: 6月19日(水) 18:30~  
 場所: 松波総合病院 3階講堂  
 テーマ: 『いつやるか?  
 今でしょ、病院前救急診療』  
 講師: 地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院  
 救命救急センター・センター長  
 間瀬 則文先生

第75回 開放型病床カンファレンス

医療関係者向

日時: 6月26日(水) 18:00~  
 場所: 松波総合病院 3階講堂  
 テーマ: 『医療現場における  
 患者さんへの対応』  
 講師: 森山経営法律事務所  
 弁護士 森山 満先生

かかりつけ医院のご紹介

羽島市 小川医院



内科 循環器科  
 呼吸器科  
 休診日 日曜日、祝日  
 〒501-6314  
 岐阜県羽島市下中町  
 城屋敷569  
 ☎ 058-398-3211  
 FAX 058-398-2125

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後5:00~ 7:00	○	○	○	—	○	—	—

院長: 小川 昭俊  
 祖父・母から引継ぎ、地域に密着した医療を目指しています。最近糖尿病が増えています。生活指導で予備軍までに持っていけるように頑張っています。

羽島市 ながき内科クリニック



内科 肝臓内科 小児科  
 消化器内科(内視鏡)  
 糖尿病・代謝内科  
 休診日 日曜日、祝日  
 〒501-6301  
 岐阜県羽島市舟橋町  
 宮北1-27  
 ☎ 058-393-0077  
 FAX 058-393-1277

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~12:00	○	○	○	○	○	●	—
午後4:30~ 7:00	○	○	○	—	○	—	—

院長: 永木 正仁  
 当院では糖尿病、高脂血症、腎機能・肝機能などを院内で検査することができます。ロンドン大学と岐阜大学病院で、消化器内科、なかでも肝臓病と内視鏡検査(胃・胆・脾)では最先端の医療に携わって参りました。血液検査は、迅速(30分以内)に結果をお知らせすることができ、再度来院してもらうことなくその場で診療に活かすことができます。

患者さまと  
 病院をつなぐ  
 かけはし  
 No.164  
 MATSUNAMI

まっなみ

2013  
 6

発行 松波総合病院

先生からのおはなし  
 CLINICAL TALK

呼吸器疾患を幅広く、最良の診療を心がけています。



松波総合病院 呼吸器内科部長 小牧 千人



専門分野  
 呼吸器疾患(特に肺癌の診断と治療(内科的))、  
 肺感染症、喘息  
 認定資格  
 日本内科学会: 認定内科医・総合内科専門医・指導医  
 日本呼吸器学会: 指導医・専門医  
 日本呼吸器内視鏡学会: 指導医・専門医  
 日本がん治療認定医機構: 認定がん治療認定医 他

■呼吸器疾患は幅が広く、種類も多いのが特徴です。  
 呼吸器内科では全身に関わる多くの疾患を診療しています。なかでも、人口の高齢化や環境の変化にともなって、気管支喘息やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)、肺がん、非結核性抗酸菌症などの患者さんが年々増加しています。

呼吸器内科の主な疾患内容

- 肺炎や非結核性抗酸菌症\*のような肺感染症
- 気管支喘息などのアレルギー性肺疾患
- リウマチや血管炎などの肺障害
- 肺がんなどの肺悪性疾患
- 塵肺などの職業性肺疾患
- COPD(慢性閉塞性肺疾患)や気管支拡張症などの気道系疾患
- 胸胸や胸水貯留などの胸膜疾患
- 睡眠時無呼吸症候群

\*非結核性抗酸菌症: 結核菌の親類のような菌ですが、結核菌に比べたらずっと弱く、人から人には感染しません。最初はほとんど自覚症状がないことが多いのですが、次第にせき、たん、血たん、微熱などが症状となって出てきます。

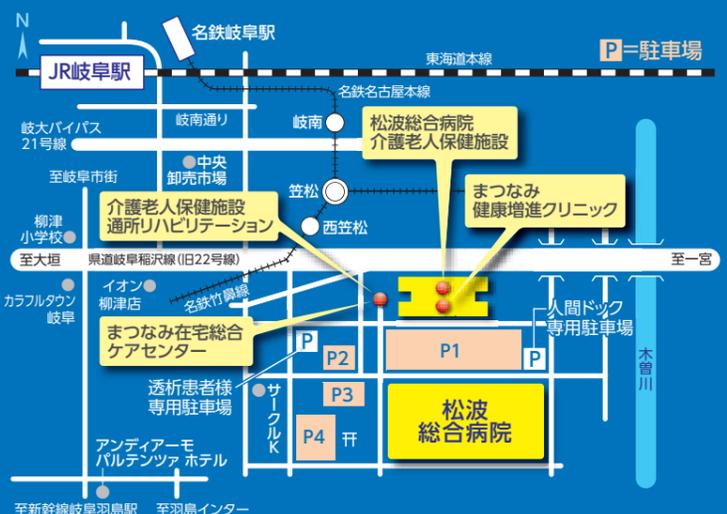
■常に全身管理を意識した診療を行っています。  
 呼吸器疾患では、せきや息苦しいなどの症状が代表ですが、これらの症状だけでは区別のつけにくい疾患が多いこと。また、高齢であったり、他疾患の合併症をもつ患者さんも多いことから、病気の診断・治療には幅広い知識と経験が必要とされます。当科では、すべての呼吸器疾患に対して、最新で最良の医療を提供することをモットーに診療にあたっています。同時に、当科の扱う呼吸器疾患は、肺という一臓器の疾患ではなく、全身疾患であることから、日々の診療は常に全身管理(精神的なケアを含む)を考えて行っています。また、近年増加の一途をたどる肺がんの診断・治療では、その進行度に応じて手術、化学療法、放射線治療の適応が決定されますので、呼吸器外科と緊密な連携をとりながら診療を行っています。

【社会生活と治療を両立させる外来抗がん剤治療】

数年前までは、抗がん剤治療は、吐き気などの副作用が強く、何ヶ月も入院して行うことが普通でした。しかし、ここ数年の間に治療効果の高い薬が次々に開発され、また副作用に対する治療も進歩したことにより、外来通院で肺がんの抗がん剤治療が行えるようになりました。松波総合病院では、平成21年に「外来化学療法室」を開設し、これまで繰り返し入院して治療しなければならなかった抗がん剤治療が、家庭で生活しながら、あるいは仕事を続けながら、外来で行うことができました。さらに薬剤の工夫で、短時間でかつ楽に、質の高い治療を行っています。外来の抗がん剤治療についてお問い合わせ、ご相談があればいつでもご連絡ください。



松波総合病院化学療法室では、肺がん、乳がん、前立腺がんなどの抗がん剤治療を外来で行っています。



遠方よりお越しの方

新幹線岐阜羽島駅	西笠松駅	松波総合病院
名鉄電車竹鼻線25分	徒歩10分	
	タクシー20分	

名鉄岐阜駅	西笠松駅	松波総合病院
名鉄電車羽島線10分	徒歩10分	
	タクシー15分	

名鉄名古屋駅	笠松駅	松波総合病院
名鉄電車急行25分	徒歩15分	
	タクシー5分	

お気軽にお問い合わせください。  
 ☎ 058-388-0111  
 http://www.matsunami-hsp.or.jp/

当院は、病院内・敷地内全面禁煙です。皆様方のご理解とご協力をお願いします。

松波総合病院 〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

# 第12回 「濃尾医療連携セミナー」を 開催しました。

平成25年4月20日(土)、岐阜市内のグランヴェール岐山において「第12回濃尾医療連携セミナー」が行われ、多くの方にご参加いただきました。

このセミナーは、松波総合病院と地域の開業医の先生方とでつくる「濃尾医療連携研究会」が毎年定期的に開催するもので、12回目となる今年は、はじめに当院消化器内科副部長・樋口正美医師が『当院における超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)の現状』と題して講演を行い、当院が導入している「超音波内視鏡下吸引生検法」は開腹手術をすることなく膵臓の細胞・組織を採取することができ、膵腫瘍の診断・治療に有用であることなどを報告しました。

続いて尾道市医師会地域医療システム研究所所長の片山壽先生をお招きしての特別講演が行われました。片山先生は、さまざまな疾患を持った高齢者を地域で支えていく「尾道方式」と呼ばれるシステムを考案され

た方で、地域ケアのモデルとして全国から注目を集めています。講演後の質疑応答では、地域の先生方から活発なご意見、ご質問をいただき、大変有意義なセミナーとなりました。

## 【講演プログラム】

- 16:00～ 濃尾医療連携研究会総会  
【濃尾医療連携研究会のこの1年】  
松波総合病院 病院長 山北 宣由
- 16:15～ 一般演題  
【当院における超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)の現状】  
松波総合病院 消化器内科副部長 樋口 正美  
(座長:ひらたクリニック 院長 平田 俊文先生)
- 17:00～ 特別講演  
【地域医療連携と地域包括ケアシステム】  
尾道市医師会地域医療システム研究所所長  
片山医院 院長 片山 壽先生  
(座長:不破医院 院長 不破 洋先生)
- 18:10～ 情報交換会

## 『地域医療連携と地域包括ケアシステム』講演趣旨



尾道市医師会地域医療システム研究所所長  
片山医院 院長  
片山 壽

1949年広島県尾道市生まれ。1986年、尾道医師会理事に就任後、第三の医療と言われる在宅医療を尾道市全域に推進。2000年から2012年まで尾道医師会会長を務める。

高齢者が住み慣れた地域で安心して医療を受けるためには、医療、介護、福祉の関係者がチームを組み、患者さんや家族を支えるシステムを作ることが重要です。その核となるのが「ケアカンファレンス」で、尾道では、患者さんに関わるメンバー全員が情報を共有し、より良い医療・看護・介護をどのように行うかを話し合います。たとえば末期がんで入院中の患者さんが「家に帰りたい」と望まれたときは、直ちに「退院前ケアカンファレンス」が開かれ、病院の主治医やかかりつけ医、訪問

看護師、薬剤師、ケアマネージャー、ホームヘルパー、民生委員など様々な職種のスタッフが病院に集まり、患者さんや家族をまじえて情報交換し、原則15分の会議でそれぞれの役割と分担を申し合わせて、退院後の在宅ケアのプランを立てます。

多職種がチームを組むことのメリットは、「一人ではできないことも、チームならできること」。主治医としての機能を一人で果たすことが困難な場合も、複数の医師で対応することで機能します。患者さん自身も「このメンバーに守られている」という安心感は大いといいます。医療をどう使うか、自分がどういう最期を迎えたいか、私たち一人ひとりがもっと考えなければいけません。地域のあらゆる医療資源を活用し、看取りや緩和ケアを行うことで、自宅で笑顔で最期を迎えることができるということを知ってほしいと思います。

## 新しく当院に赴任した 5名の医師をご紹介します。



肝臓膵移植外科 部長 かわはら としやす  
川原 敏靖

5月から肝臓膵移植外科部長として着任いたしました。医学部卒業後から今までの20年間、基礎研究と臨床医学の両立を心がけ、3年間のハーバード大学での留学、そして2006年から6年半のカナダ アルバータ大学で肝臓膵移植外科医としての経験を積んでまいりました。生体部分肝移植、そしてロボットによる肝臓、膵臓手術という新しい試みで岐阜地域医療のお役に立ちたいと考えております。お気軽にご相談いただければと思います。



肝臓膵移植外科 医員 こにし ななみ  
小西 奈々美

今年度より外科に就任いたしました。肝臓膵領域の知識を生かしつつ、急性期の患者さんの対応が出来ればと思います。よろしくお祈り致します。



麻酔科 医員 いのうえ あみ  
井上 安見

周術期の麻酔、全身管理を担当します。手術を受ける患者さんに手術が思ったより楽だったと思っていただけるよう最善をつくしますのでよろしくお祈り致します。



内科 医員 やじま たかひろ  
矢島 隆宏

専門は腎臓内科です。慢性腎不全や透析のみならず、内分泌、糖尿病、感染症、膠原病の診療に取り組みたいと考えます。また、地域医療に貢献できるように努めたいと考えます。よろしくお祈り致します。



内科 医員 さかもと てつろう  
坂本 哲朗

5月から総合内科に着任しました坂本と申します。丁寧で誠実な診療を心がけることで、一人ひとりの患者さんとの経験を生かして、医師として成長したいと考えています。よろしくお祈り致します。

## まつなみ information



## JMAT活動に対し、感謝状を頂きました。



平成25年4月23日、東日本大震災の被災地におけるJMAT(災害医療チーム)の医療支援活動に対して、厚生労働省より感謝状を頂きました。

